

## 解答編

## 1 動産物権変動・一般

Q5-02 178条の「引渡し」は、占有移転を意味し、占有の承継取得を規定する182条から184条が適用されるとされている。また、占有には、直接占有と間接占有（代理占有）、自主占有と他主占有という区別もある。そこで、売主をA、買主をB、Aからの受寄者が登場する場合にはそれをCとし\*、現実の引渡しの例に倣って次の表を完成させなさい。

| 引渡しの様態                  | 事例              | 引渡し前の占有の性質                          | 引渡し後の占有の性質                           |
|-------------------------|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 現実の引渡し<br>(182条1項)      | 通常の売買           | A：直接占有・自主占有<br>B：未占有                | A：占有喪失<br>B：直接占有・自主占有                |
| 簡易の引渡し<br>(182条2項)      | 賃借人の買受け         | A：間接占有・自主占有<br>B：直接占有・他主占有          | A：占有喪失<br>B：直接占有・自主占有                |
| 占有改定<br>(183条)          | 譲渡担保            | A：直接占有・自主占有<br>B：未占有                | A：直接占有・他主占有<br>B：間接占有・自主占有           |
| 指図による<br>占有移転<br>(184条) | 預けてある物の預けたままの売却 | A：間接占有・自主占有<br>B：未占有<br>C：直接占有・他主占有 | A：占有喪失<br>B：間接占有・自主占有<br>C：直接占有・他主占有 |

\*注 反対説も強いが、判例（最判昭29年8月31日民集8巻8号1567頁）は、受寄者は178条の「第三者」ではないとするから、BがCに返還請求をするには、引渡しを受けていなくても良いことになる。

[補足] 184条の指図による占有移転は、条文の当てはめ方を間違えないように。上記の設例の記号を用いるなら、「代理人」=C、「本人」=A、「第三者」=Bであり、承諾が必要なのは、Aのために占有していたCではなく、これから占有権を取得するB。Cに対しては、一方的に命じるだけでよい。このような構造は、債権譲渡の場合の467条1項の債務者対抗要件が、譲渡人からの一方的な通知でよいとすることと似ている。